

**システム制御情報学会**  
**サステイナブル・フレキシブル・オートメーション (SFA) 研究分科会**  
**第4回研究例会「介護工学, 人間工学の最前線」**  
**共催: 日本材料学会生産科学部門委員会, ものづくり IT 研究会**

第4回研究例会では, 人間を対象とした介護工学および人間工学の研究をとりあげます. 近年の高齢化の状況を考えると, 施設あるいは在宅における介護や看護の問題は非常に重要となっており, メカトロニクス技術やロボット技術を活用した介護機器などが開発され, 一部では実用化されております. また, 機器の開発などに必要な人間のシミュレーションなどの解析技術も進展しております. 今回は, 介護に関係するロボット技術および解析技術についての講演会を開催させていただきますので, ぜひご参加いただくようご案内させていただきます.

システム制御情報学会 SFA 研究分科会  
主査 杉村延広

◇日時: 2011年11月15日(火)13:30~17:00

◇場所: 大阪大学中ノ島センター

場所: 大阪大学中ノ島センター7F 講義室3 (添付の地図をご参照ください)

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

◇ プログラム:

13:30~14:30 講演1「高齢社会の健康生活を促すロボット技術開発」

神戸大学大学院工学研究科 羅 志偉 氏

講演概要: 社会の高齢化に伴い, 介護支援, リハビリテーション, 福祉・社会活動参加支援など, ロボットを代表とする最先端の工学技術による人間支援への期待が一層高まりつつある. このような期待に応えるために, 身体認知・運動機能の老化プロセスや, 工学支援の本質をしっかりと理解し, 人を単に「動かす」ではなく, 身体機能の自立を「促す」ことがより大切である. 本講演では, 具体的な研究事例を示しながら, 高齢社会の健康生活を促すロボット技術開発の現状と課題について考察する.

14:45~15:45 講演2「介護動作のバイオメカニクス - 介助動作時の腰部負担の計測と軽減方策の提案 -」

国際医療福祉大学 勝平 純司 氏

講演概要: これまで, 腰痛の既往率の高い介護者の腰痛予防策を考えるため, 三次元動作分析装置を用いた介護動作時の腰部負担の計測を行ってきた. 今回は介護動作時の腰部負担の計測方法を示すとともに, 腰部負担を軽減する方策について解説する.

16:00~17:00 講演3「機構解析 Adams と人体運動解析 LifeMOD の事例紹介」

電通国際情報サービス 友安 大輔 氏, ヴィアイグレイド 吉井 亨 氏

講演概要: 電機, 精密, 医療など幅広い分野で活用されている機構解析ソフトウェア Adams と, Adams ベースの筋骨格シミュレーションとして, 主に医療, スポーツ, ロボティクス分野で利用されている LifeMOD について, 事例を交えて紹介する.

◇参加資格: サステイナブル・フレキシブル・オートメーション (SFA) 研究分科会会員および共催委員会などの会員.

参加希望の方は, 11月7日までに, [sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jp](mailto:sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jp) まで, メールにて, ①ご所属, ②お名前, ③E-メールアドレスをご連絡いただくようお願いいたします.

※参加ご希望の方は必ず事前に入会の手続きをお済ませ下さい.

◇問い合わせ先: 〒599-8531 堺市中区学園町 1-1

大阪府立大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 機械生産工学研究室内

SFA 研究分科会事務局行

E-mail: [sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jp](mailto:sfa-staff@ml.osakafu-u.ac.jp) TEL: 072-254-9207 FAX: 072-254-9904

ホームページ: <http://www.eng.osakafu-u.ac.jp/SFA/>

## アクセスマップ

Access Map



※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。  
10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。  
(写真参照)